

Q 8 : 年間指導計画はどのように作成したらよいですか。

A 8 : 年間の指導計画を作成するに当たって、その基になるのが学習指導要領に示された目標や内容及び学校で設定する「各学年の具体的な目標」です。まず学習指導要領に示された目標や内容、内容の取扱いをしっかりと踏まえ、児童の実態や興味・関心などに応じて各学年の目標を設定し、それにしたがって題材や指導内容を選択していくことになります。また、作成していないところは英語ノートをそのまま活用して計画を立てることも1つの方法です。

1 年間指導計画作成の手順

- (1) 学習指導要領の外国語活動の目標や内容を踏まえて各学年の具体的な目標を明確にする。
- (2) 英語活動の年間配当時数を決定する。(平成23年度からは年間35時間を標準とする。)
- (3) 題材・活動内容を選定する。
- (4) 活動内容に必要な英語の表現等を考える。
- (5) 指導方法や評価について考える。
- (6) 指導体制や教室環境などを考える。

2 年間指導計画作成のポイント

(1) 題材について

英語ノートを大いに参考にしながら、児童が興味をもち、英語で表現したいと思っていることを把握しながら題材の工夫をしていくとよいでしょう。その際、次のことを配慮しましょう。

- ・児童の発達の段階を考慮する表現を用いる。
- ・身近なコミュニケーションの場面を設定する。
- ・音声面を中心とする。
- ・文字や単語の扱いについては、児童の学習の負担を考え、音声によるコミュニケーションを補助するものとして考える。
- ・必要に応じてジェスチャーなどを取り上げる。
- ・国語や日本の文化についても併せて理解を深めるようにする。
- ・次に示すようなコミュニケーションの場面などを取り上げるようにする。

(2) 活動を考える際には次のことに配慮して場面設定を行うとよいでしょう。

● 5年生

- ・児童に身近で基本的な表現を使うこと

- ・外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心にする
- ・友達とのかかわりを大切に体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること

●6年生

- ・5年生の学習を基礎として、友達とのかかわりを大切にすること
- ・児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること

【特有の表現がよく使われる場面】

- ・あいさつ
- ・自己紹介
- ・買物
- ・食事
- ・道案内
- など

【児童の身近な暮らしにかかわる場面】

- ・家庭での生活
- ・学校での学習や活動
- ・地域の行事
- ・子どもの遊び
- など

具体的には次のような活動も考えられます。

「英語に触れ、慣れ親しむ場合」

- ・音やリズムに触れる活動 歌・チャンツ・TPR など
- ・単語や表現に触れる活動 ゲーム・ビンゴなど



(3) 扱う英語の表現について

活動で扱う英語の表現は、題材と活動内容を基に、その活動を行うために必要なものを考えたものです。また、活動を行う際には、英語の表現を覚えることが目的ではないことに留意する必要があります。扱う単語等は、簡単で様々な場面で応用可能なものを扱うとよいでしょう。さらには自分や自分の身の回りに関することから、他教科や他領域、さらには社会に関連したものへと題材とともに広げていくことも大切です。あくまでも授業で扱う英語の表現は、児童の生活に身近なもの、英語で表現したいと思っていることを英語ノートなど参考にしながら決めていくとよいでしょう。